

# ひよこ新聞

まだ寒日がつづけていますが、予報では日中が寒いのは今日まで、夜が寒いのは今週いっぱいようです。日の出はどんどん早くなり、日没は遅くなって気温以上に春を感じます。子どもの病気では一番気になるインフルエンザの流行が収まってきています。特定のクラス・家族内でのまとまった感染が目立ちます。吐く・下痢・腹痛の急性胃腸炎は長期にわたって流行が続いています。軽症の場合が多く、水分補給ができればほとんどの子どもが1-2日で回復しています。



## インフルエンザ

2月に入ってインフルエンザにかかる人の総数は減ってきています。それでも道南で週に200-300人がインフルエンザで小児科を受診しています。今の所ほとんどはA型ですが、森と厚沢部でB型の報告がありました。これから増えて来ないか注意する必要があります。米国から今年のインフルエンザワクチンの効果は48%（という微妙な数字）だったと報告がありました。

## ひよこドクター旅行：2016 イタリア ：コマッキオ (Comacchio)

人口23,000人の小さな日本ではほとんど知られていない町だと思います。アドリア海に面していてヴェネチアから約60km南側に位置します。小さな運河、そこにかかる橋があつ



てヴェネチアのムラーノ島によく似ていると思いました。午後7時すぎに着いて、散策した後にシーフードたっぷりの夕食を食べました。夕暮れ時の空がとてもきれいでした。

## 米国の予防接種スケジュールの2017の変更

日本の予防接種がこれからどう変わっていくかを考える上で米国での状況はとても参考になります。

2017年に発表された米国での予防接種スケジュール・推薦の変更点を紹介します。以下に詳細しますがまとめとしては、**さようなら (なくなるもの)**：HPVワクチン3回接種、弱毒インフルエンザ生ワクチン、7価プレベナー **こんにちは (新しく始まるもの)**：HPVワクチン2回接種、B型肝炎ワクチンの24時間以内接種、妊婦へのTdapです。

1) HPVワクチン (いわゆる子宮頸がんワクチン)：3回接種から2回接種に変更されました。初回接種が15歳未満なら今まで3回接種が推奨されていたが2回接種でも十分な予防効果が期待できるからです。2) B型肝炎ワクチン：初回を生後24時間以内に接種する。3) 弱毒インフルエンザワクチン：小児への接種は推奨していません。

4) Tdap：日本では使用されていません。破傷風・ジフテリア・百日咳を予防するための三種混合不活化ワクチンで

す。妊婦以外に生涯一回の接種を推奨しています。百日咳は生後間もなくの乳児が罹患すると重症となることが多い病気です。米国では出生してくるベビーに百日咳に対する抗体を高めて予防するために、妊婦が妊娠27週から36週の間このワクチンを受けることを勧めています。

## 日本と米国との予防接種の比較

**HPVワクチン**：米国でも接種率は低めですが、それでも2/3程度は受けています。日本の接種率は、様々な学会が推奨しているにもかかわらず（多分政府の腰が引けているために）壊滅状態です。HPVワクチンの改良は進んでおり、現在日本で使用可能なものは2価か4価（2006年に製造認可）ですが、米国では2015年に9価のHPVが認可され使用されています。HPVが関係するがん（主なものは子宮頸がん）の70%を予防できるワクチンができるワクチンです。日本でこのワクチンがほとんど使用されないのはどうしてでしょうか？使わない人が賢明なのでしょう？勧めない医療関係者が慎重なだけなのでしょう？

**肺炎球菌ワクチン**：日本では23価のニューモバックスが推奨されていますが、米国では第一に13価のプレベナーです。可能なら1年間の間隔をあけて両方受けることを勧めています。日本ではプレベナーは自費で（ニューモバックスは年齢制限があるけれど無償）、米国のような推奨はしていません（プレベナーの方が効果があるようですが）

**水痘ワクチン**：小児期に水痘ワクチン接種を受けていない成人全員に水痘ワクチンを勧めています。主な目的は帯状疱疹の予防です。このために成人向けの（高力価の）ワクチンが開発されています。

## ひよこ絵本館 355 回 《おいしいおと》

目の見えない三宮さんならではの聞こえかたかと不思議に思いました。純粋に音を感じたら、こんな楽しい世界が広がってくるんですね。この音を言葉にすると、食べる事がワクワク楽しくなってきます。お子様と食べる音を見つけあうと、更においしい音の発見になりそうです。シンプルな絵と楽しい擬音の世界で食べる事の大切さをそっと教えてくれました。（Yすぎやま）。

